



ちゅういっぷぐみだより

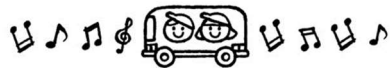
2023年度 11月発行
尚徳福祉会おぐら保育園



秋晴れが続き、日中は爽やかで過ごしやすい日が続いています。子どもたちは鬼ごっこをして駆け回ったり、制作を楽しんだり、友だちとパズルに挑戦したりと、夢中になって遊んでいます。成長発表会の練習も始まり、役に親しみながら遊びの中でも楽しんで歌ったり踊ったりしています。

一段と空気が乾燥し、気温も下がってきます。体調に留意し、元気に楽しく過ごしていきたいと思います。

初めてのバス遠足



子どもたちは何日も前から「今日行くの?」「明日行くの?」と言ってバス遠足を楽しみにしていました。当日はちょっぴり緊張気味の子もいましたが、バスの中で動物クイズをして盛り上がると「まだ着かないの〜?」「(動物園) もうすぐ?」などと言って、到着が待ちきれない様子でした。

動物園では、もっと近くで動物が見たくて動物の名前を呼んだり「バイバ〜イ」と挨拶をしたり「次は何見るの?」と言いながら、とっても楽しそうでした。特に、お弁当の時間は一番の楽しみだったようで「お弁当いつ食べるの?」「早く食べた〜い」という子が多く、お弁当を食べる場所に近づくと、足取りが軽くなったようでした。たくさんの動物を見て、美味しいお弁当を食べ、園内バスにも乗って、大満足のバス遠足となりました。

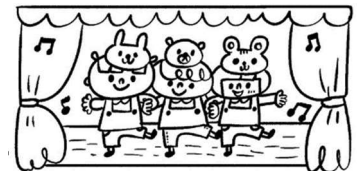
〜お弁当の準備など、ご協力をありがとうございました。〜

成長発表会

子どもたちに人気の歌やお話を選び、成長発表会に向けて練習を始めています。

自分の役だけでなく、お友だちの役にも親しみながら、遊びの中でも歌ったり踊ったりしています。

秋が深まる頃には、更に成長した姿を見せてくれそうです。お楽しみに!!



食欲の秋

一人一人の食事量や希望に合わせて、保育士が盛りつけをしています。そのため、残食が減り完食する子が増えてきました。ピカピカのお皿とともに、ピカピカの笑顔が増えてくると、苦手なものにチャレンジする姿や、以前は残していた量でも「もうちょっと食べて、完食したい」と思うようになるなど、食に対する気持ちに変化が見られるようになってきました。

秋の味覚を味わう会食では、手作りのランチョンマットを使用してバイキングを楽しみました。



お世話大好き

あっという間に半年が過ぎ、子どもたちは困っているお友だちを助けたり、先生のお手伝いをしたり、少しずつお兄さん、お姉さんらしくなってきました。

最近では、入室するみかん組のお友だちを園庭からテラスまでエスコート(?)し、靴や靴下を脱がせてあげる姿が見られるようになりました。

子どもたちの自発的な行動を温かく見守りながら、他者を思いやる気持ちを大切に育てていきたいと思っています。